



偽造と知的財産権侵害の撲滅に向けて日米欧3自動車部品業界団体による共同声明

知的財産権には価値があり、尊重しなければならないとの共通の認識のもとに、CLEPA、JAPIA、MEMAの3業界団体が集まり、声明を発表して、3者統一のスタンスで偽造行為および知的財産権侵害の根絶に向けた行動をさらに推進することにした。製品の偽造は全世界で何十億ドルもの損害を与えている。自動車部品の偽造件数は増加しており、正規部品のメーカーは何十億ドルもの損害を蒙っている。経済的な影響が大きいだけでなく、低品質の偽造部品は危険であり、事故や死亡事故を引き起こすことになる。低品質の自動車部品や製品が一般消費者の健康と安全を危険にさらすことを考えると、偽造行為に対しては世界のどの地域であってもすべて毅然とした態度で立ち向かわなければならない。

知的財産権を尊重することは、権利を保有する者の利益を守るだけでなく、新しい優れた製品の開発にもつながり、一般消費者を劣悪で安全性にかけた製品から守ることにもなる。偽造部品と知的財産権侵害の流れを阻止する対策の一環として、見本市などトレードショーの主催者が偽造品に対する強力なルールを設定し、偽造品に対してそのルールを厳格に適用するために使えるようなガイドラインを3団体が共同で採用することに同意している。また、トレードショー主催者、法の執行者、顧客、顧客組織、支援団体、報道機関に対して知的財産権侵害に対する認識を高めるよう働きかけ、その支援を求めることも計画している。

また、3団体は、偽造撲滅キャンペーン用の展示コーナーを設け、他の自動車業界組織にもこの展示コーナーに参加してもらうよう呼びかけるつもりである。これは製品の製造元を知ることの大切さを一般の消費者に認識してもらうのにも役立つだろう。これまでに実施したトレードショーでは、こうした活動が偽造品の展示や知的財産権侵害を減らすのに効果的であった。

一般消費者や部品製造業界にとってこうしたことの重要性は強調しすぎることはない。国際的部品サプライヤー組織は、共同行動によってこの問題に取り組み、知的財産権侵害件数の削減に努めていく所存である。

2008年4月2日

欧州自動車部品工業会（CLEPA）
日本自動車部品工業会（JAPIA）
米国自動車部品工業会（MEMA）